

議会運営委員会 行政視察

議会運営委員の8人は、昨年10月22日から24日まで、議会基本条例、議会改革について、田原市と鳥羽市の行政視察を行いました。

〈愛知県田原市〉

渥美半島のほぼ全域を市域とし、平成15年8月に2町が合併し市制を施行し、その後平成17年10月に1町が合併し現在に至っています。昨年4月1日現在の人口は6万5千余人で、面積は約189平方キロメートルです。

同市議会では、平成22年12月に議会基本条例を制定し、特徴的なことは当局への反問権という規定を設けず、確認の機会を付与し、お互い自由に議論してもらうということでした。

また議員政治倫理制度や、議会による行政評価を実施するなどしていました。

〈三重県鳥羽市〉

志摩半島の北部を市域として、四つの有人島を包含する特異な都市形態をして

います。昨年4月1日現在の人口は2万千余人で、面積は約108平方キロメートルです。

平成23年4月に議会基本条例を制定しています。

また、ソーシャルメディアを活用した議会の見える化のほか、積極的にIT化を推進するなど、市民からも議会が分かりやすくなったなど好評とのことでした。

総務企画常任委員会 行政視察

昨年11月17日から19日まで、佐賀県武雄市、熊本県合志市及び山鹿市の視察を行いました。

〈佐賀県武雄市〉

フェイスブックを活用した情報発信について及び行財政改革について視察しました。市長のモットーであるスピードは最大の付加価値をまさに体現していると思われました。職員からは武雄市役所は365日24時間開いているとの気概が感じられました。

なお視察に先立ち、年中

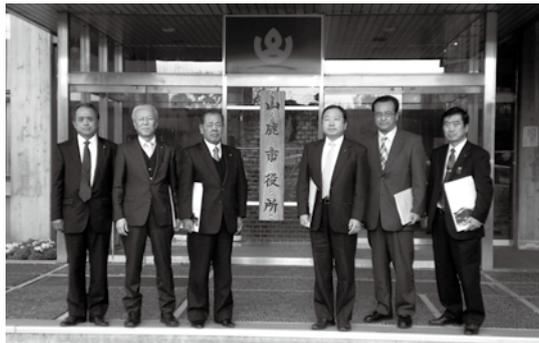
無休の市立武雄図書館を現地視察しました。

〈熊本県合志市〉

自治基本条例について視察しました。自治基本条例は、自治体運営の主体者としての市民、議会、行政の三者によるまちづくりの考えを共有することが重要と感じました。

〈熊本県山鹿市〉

田園観光都市づくりについて視察しました。山鹿温泉元湯としてのさくら湯や国指定重要文化財である明治時代の芝居小屋「八千代座」などを中心としての観光まちづくりを展開してい



ます。観光客増加対策として積極的に県外への宣伝活動を行っています。特に八千代座では、舞台奈落など現地視察を行いました。

市民経済常任委員会 行政視察

昨年11月5日から7日まで、熊本県人吉市と鹿児島県南九州市の視察を行いました。

〈熊本県人吉市〉

熊本県の南部に位置し、相良700年の歴史を物語る多くの重要文化財が存在し、九州の南北を結ぶ九州自動車道、SL人吉など地域公共交通の整備も図られていました。

視察では人吉球磨は、ひなまつり等イベント事業、球磨川下り等地域資源を活用した観光、ホームページで観光情報を動画配信したり、SNS配信や観光無料アプリの作成など観光行政について学びました。

〈鹿児島県南九州市〉

薩摩半島の南部に位置し、

知覧特攻平和会館や武家屋敷群で有名な市です。

視察ではみんなのまちづくり参加条例について、条例制定の経緯、条例の概要、市民の参加意欲を促す工夫、市民政策提案制度、条例を活用した今後の取り組みや課題等について学びました。

今までの市民参加の方法を体系化したものがこの条例例であるので、条例に基づいて適切な市民参加を進めることが重要と考えているとの説明がありました。また市民への周知方法も工夫したいとのことでした。



建設水道常任委員会 行政視察

建設水道常任委員会では、昨年11月18日から20日までの3日間で、調査事項を水道料金の統一についてと企業立地ガイドについての2つに絞り、大分県日田市及び熊本県宇城市へ調査視察を行いました。

〈大分県日田市〉

水道料金統一の経緯が本市と類似する事項があり、当初最大で6倍の価格差がありました。平成17年3月に2町3村の編入合併後、天瀬温泉の大口使用者に対する扱いや方針を早期に市民に周知し、理解を求め、10年間の経過措置や内部検討等を重ね、平成25年3月議会で可決・成立し、統一料金が設定されました。

〈熊本県宇城市〉

平成17年1月に5町が合併し、平成21年3月に、市の企業誘致情報発信にあたり、企業立地ガイドを作成しました。作成理由として、市の産業振興、雇用促進、

市街地の形成、まちづくりと将来の自主財源を確保するためとされています。今後においては撤退されないようにすること、企業訪問を行い関連企業や仕入れ先等の取り組みをしていきたいとのことでした。



教育福祉常任委員会 行政視察

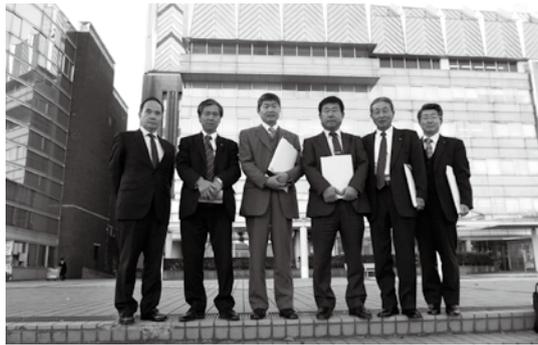
教育福祉常任委員会では昨年11月6日から7日に行行政視察を行いました。

〈秋田県横手市〉

同市では第1期〜第4期介護福祉事業計画、高齢者

福祉計画に基づきさまざまな市独自の健康づくり、認知症予防、関係機関との連携、高齢者の日常生活支援を展開中であり、この実績のうえに第5期の計画が策定されました。

共に助け合う「地域包括ケアシステム」構築を作成、高齢者世帯への雪対策支援、寄合場所づくり、買物支援、移動手段支援、暮らしやすい住宅環境整備、認知症高齢者への支援、医療との連携、事業者の参入などにより介護サービス普及が急速に進み、スムーズに取り組まれていきました。



請願・陳情

採択

○脳脊髄液減少症の診断及び治療等に関する請願書

〈要旨〉

※脳脊髄液減少症に有用なブラッドパッチ療法の治療基準を策定し、平成26年度に保険適用にする。また「診療ガイドライン」の早期作成と患者・家族の支援体制を確立することなど。

（請願者 群馬県脳脊髄液減少症患者会）

不採択

○「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求めるとの請願

〈要旨〉

学校別結果公表は、学校の序列化や過度な競争を進め、競争教育を一層激化させる。よって全国学力・学習状況調査の学校別の公表を認めないことなど。

（請願者 全群馬教職員組合）

議会往来

11月

▽5日〜7日 市民経済常任委員会が熊本県人吉市と鹿児島県南九州市に行政視察

▽6日〜7日 教育福祉常任委員会が秋田県横手市に行政視察

▽7日 北海道千歳市議会が視察来庁

▽8日 長崎県諫早市議会が視察来庁

▽14日 静岡県沼津市議会が視察来庁

▽17日〜19日 総務企画常任委員会が佐賀県武雄市と熊本県合志市及び山鹿市に行政視察

▽18日〜20日 建設水道常任委員会が大分県日田市と熊本県宇城市に行政視察

▽19日 福島県田村市議会が視察来庁

▽20日 静岡県伊豆の国市議会が視察来庁



※ブラッドパッチ療法
脳脊髄液が漏れ出している部分に自家血を注入して、漏出を止める治療法

※脳脊髄液減少症
何らかの理由で脳脊髄液が減少し、頭痛や様々な全身症状が現れる疾患